

第2630地区 多治見西ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



「険道運荷駄図」

文化勲章受章者 荒川豊蔵氏描



例会日 毎週木曜日

事務局 多治見市新町 1丁目 23番地

TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101

n-rc@joy.ocn.ne.jp

<http://tajiminishi.jimdo.com/>

会長 伊藤正雄 会報 松浦毅

幹事 大澤大二 堀義紀

会長テーマ

家族愛 ファミリーなロータリー 愛と夢と展望

第2174例会 2011年1月27日(木)

本日のプログラム

点鐘

ロータリーソング 手に手つないで

四つのテスト

ビジター紹介・会長挨拶

出席報告・スマイル報告

委員会報告

幹事報告

卓話 多治見市前市長

西寺雅也様

「事業仕分の意義と問題点」

点鐘

・ 地区事務所より

2011年～12年 GSE(Group Study Exchange)

研究グループ交換派遣メンバー募集の依頼

・ 地区事務所より

2011～12年度

地区ロータリー財団研修セミナー参加出席

要請案内

他クラブ例会変更のお知らせ

多治見リバーサイド RC 2月1日(火)

職場訪問のため リード進学塾

12時30分点鐘



西寺雅也様略歴

生年月日 1944年3月3日

1968年 名古屋大学理学部数学科卒業

1995年 多治見市長

現在 山梨学院大学法学部

政治行政学科教授

着信書類

・ 国際ロータリー日本事務局より

2010年 手続き要覧 拝受

・ 可児市商工会議所より「経営セミナー」への協力をお願い

先週の記録

出席報告（免除者 5名 内出席者 2名）

出席者	欠席者	出席率
31名	2名	93.93%

スマイル報告

投函者 17人 20,000円

- ・委員会の発表を致します。宜しく御願います。佐藤 正
- ・上期会計報告をいたします。山崎正司

会長挨拶

こんにちは!!

1月16日日曜日に多治見青年会議所 第60回
定時総会及び交歓会に出席しました。

多治見JCMもご多分に漏れず会員の減少が著しく
現会員数は47名程度なのですが、会場の雰囲気、
設営等、すばらしい大会でよくも少人数でここまで
できたなと感心した次第です。鈴木理事長及び大村
新理事長の挨拶、特に新理事長の「夢に挑み 夢を
叶え 夢を与え続ける人であれ!」を主旨とした決
意にも感心しました。来賓の挨拶には「会員数の減
少」の話に加えて「日本を愛する、日本国土を愛す
る真の日本人が少なくなってきた。日本人大半が自
己都合の私利私欲の世界に住んでいる。気持ちが大事。
我々は「めざし」のみで白米を食しないで日本の
ために頑張った。あるいは「国際化を会社の事業
全ての過程に考量しなければならない。例えば自分
の会社に外人を採用しなければいかん。これからの
人口減少ひいては需要の減少(産業の衰退)等将来
の問題を考えれば何かその辺のことに気づくべき
だ。」との意見がありました。耳の痛いお話も拝聴
しながら改めて、これからの未来のある、我々より
相当に若い人達が、この不況感の強い経済界の中で
長く頑張らなければならぬ事に(我々の世代も同じ
ではあります。)ただただ「ご苦労さん」と声を
かけたくなる次第です。総会終了後、懇親会が始ま
りました。ある程度お酒が進んだ時、会員の中にP
T A会長が3名ほど私の席に挨拶に見えました。
今期の多治見西クラブの「市内小中学校 - 親子ふれ
あい活動への協賛」に対する御礼であります。この
場に熱心なJCM会員がJCM活動と共にPTA活動
も活発にしながら、頑張っていることに感心しまし

たが、わざわざ御礼挨拶に来てくださったことに大
変感激しました。同時に西クラブのこの活動を継続
して良かったとつくづく思いました。

さて、昨日の新聞に中津川市に「タイガーマスク」
が出現したようです。そうなるややはり、岐阜県に
は児童相談所がどうなっているのか興味がわか
ります。早速調べました。岐阜県では児童相談所とい
う名称ではなく、「子供相談センター」となっていま
した。所在は「岐阜市」「大垣市」「美濃加茂市」「高
山市」それに「多治見市上野町」にありました。上
野町には「東濃子供相談センター」があるようです。
いつか、岐阜県の他のどこかに!!
不謹慎ではありますが楽しみでもあります。

ポリオ撲滅チャリティコンサートチケット

日時 : 2月4日(金)

午後6時15分開演

場所 : 名古屋電気文化会館

チケット残り3枚

ご希望の方に配布いたします。

四つのテスト

四つのテストは、100カ国以上の言語に翻訳され
ています。1954年に日本の大阪ロータリークラ
ブは、四つのテストをバナーに印刷した最初のクラ
ブとなりました。また、日本の別のクラブでは、に
わか雨に降られてしまった通勤客たちに傘を貸し
出すプロジェクトを開始しましたが、ある会員は、
通勤客が借りた傘を返してくれるかどうか自信が
ありませんでした。そこで、別の会員が、傘の内側
に四つのテストを印刷することを提案しました。
数カ月後、傘は数多くの人たちに利用され、すべて
返却されました。四つのテストは、人々の心の中
に深く刻み込まれ、目にみえる形で表現されています。

ロータリーの友掲載

来週のお知らせ

2月3日(木)11時30分 定例理事会

3階特別会議室

卓話 飯田利夫君

「苗栗姉妹提携について」